

『そろそろ左派は〈経済〉を語ろう』訂正箇所・正誤表

【初版から2刷の際の訂正】

p109

(初版) 「Bloomberg.com」というネットメディアのインタビュー

(2刷) 「SPIEGEL Online」のインターナショナル版のインタビュー

p126

(初版) どうも自民党側からも、似たようなアイデアが出ているらしいんですね。

(2刷) どうも自民党側からも、似たようなアイデアが出ているらしいんですね(二〇一二年四月二七日決定の自民党憲法改正草案)。

p181の図表に2刷以降、以下の文言を追加

出典：松尾匡・朴勝俊・ひとびとの経済政策研究会「普通のひとびとが豊かになる景気拡大政策」

p198

(初版) 欧州の金融政策には、コービノクスみたいな

(2刷) 欧州左派の金融政策には、コービノクスみたいな

p239

(初版) 人種差別的な言葉

(2刷) 人種差別の言葉

p315

(初版) 本書の主張を真剣に検討して下さるようお願いいたします。

(2刷) 本書の主張を真剣に検討して下さるようお願いいたします(私の提唱したい経済政策についての詳しいことは、「ひとびとの経済政策研究会」が今年の総選挙に際して出した「反緊縮経済政策マニフェスト2017」<https://economicpolicy.jp/2017/12/04/1022/>をご覧ください)。

【2刷から3刷の際の訂正】

P102

(初版・2刷) こういう政策を「金融政策」と言います。

(3刷) こういう政策を「金融政策」と言います(より細かい話は補論2を参照)。

【3刷時点で未訂正の箇所】

P137

(誤) 武井昭夫さんの「層としての学生運動」というのが有名ですね。この論文自体は一九四八年に発表されていて

(正) 武井昭夫さんの「層としての学生運動」というのが有名ですね。この運動論自体は一九四八年に発表されていて

p194 グラフ部分

(正) 単位の「%」を削除

p264

(誤) ケインズ自身は第二次世界大戦中に亡くなってしまうのですが、

(正) ケインズ自身は第二次大戦の終戦直後の一九四六年に亡くなってしまうのですが、